

東カリブ諸国機構（OECS）6カ国月間情勢報告

（アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

（2022年6月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

6月の東カリブ諸国機構（OECS）6カ国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1. 概況

- （グレナダ）23日の総選挙で、15議席のうち野党国民民主会議（NDC）が9議席、与党新国民党（NNP）6議席を獲得し、NDCが9年ぶりに政権に復帰。44歳のディコン・ミッチェルNDC党首が新首相に就任。
- （ドミニカ）中国より1000万ドル規模の農業科学コンプレックス支援を受けると発表。
- （アンティグア）中国によるセントジョーンズ港の油圧関連工事が終了し、港湾の拡張工事完了にむけて大きな一歩であると中国大使館が発表。
- （ドミニカ）グラント・ブルー及びグリーン経済及び食料安全保障相は、ハリケーンマリアで被害を受け日本の支援により修復したロゾーの漁業施設を視察した。リビエール農業省国務相が日本の支援により修復されたマリゴット漁業施設を視察し、同施設は市民の憩いの場としても利用されると述べた。
- （各国）各国において燃料、食料の値上げが続いている。また、サルガッサム海藻の漂着量が前年より多く、注意喚起が促されている。

2. 内政

（1）新型コロナウイルス

- （1日アンティグア報道）保健省は、医療従事者や50歳以上の国民など特定のグループに対する2回目のブースターの接種の開始を発表した。
- （5日セントキッツ報道）5日、保健省は、同国の感染者増にともない、米疾病対策予防センター（CDC）が、6日より同国の警戒レベルを2から3に上げ

る旨を発表した。

●（9日セントビンセント報道）政府は新型コロナウイルスの感染対策について、ワクチン完全接種者については陰性結果証明の提出が必要ないが、空港保健員の判断で到着後の検査を求める場合ある、ワクチン未接種者は引き続き陰性証明の提出が必要とした。

●（10日アンティグア報道）保健省は、アストラゼネカ製ワクチンのみを求める国民を対象に、同ワクチンの追加入手を予定している旨を発表し、ワクチン接種を促した。

●（16日アンティグア報道）16日、政府は、ワクチン未接種者に対する入国時検査を撤廃する予定がない旨を発表した。

●（16日セントビンセント報道）16日、首相府は、ゴンザルベス首相が14日に受けた検査で陽性であり、20日まで隔離となるため、ルワンダで開催予定の英連邦首脳会議への参加が出来ないが、症状はなく在宅勤務をしている旨を発表した。

●（25日セントルシア報道）保健省は、感染者数が減少傾向にあるものの、引き続き警戒を緩めずに、ワクチン接種を含むあらゆる感染対策を実施するよう促した。

●（27日アンティグア報道）保健省は、抗原検査の結果が陽性であれば、PCR検査を受けずとも陽性と判断することを許可した。

（2）その他内政

●（1日ドミニカ報道）新政党チーム統一党（Team Unity Party）が設立され、正式に政党として登録された。

●（2日セントキッツ報道）投資による市民権（CBI）プログラムによる収入について、ハリス首相は、連立政権がネービス島管理局に多額の資金を投入し続けていると主張しているが、ネービス州のブランドリー長官は、同州はより多額の資金を受け取る資格があるとしている。

●（2日、3日グレナダ報道）グレナダ政府は、OAS、カリコム、カーターセンターの3機関に総選挙監視団の派遣を要請し、OASとカリコムは要請を受理。ミッチェル首相は、来たる総選挙での与党新国民党の勝利を見込んでいる。

●（4日セントキッツ報道）ネービス改革党（NRP）は、総選挙立候補者の発表により、選挙キャンペーンの開始を正式に宣言した。

●（7日セントキッツ報道）与党人民労働党（PLP）は、総選挙に向けた候補者を選出。

●（21日グレナダ報道）与党新国民党（NNP）と野党国民民主会議（NDC）は総選挙に向けてマニフェストを発表。NNPは「エンパワーメント・アジェン

ダ」と呼ばれるものを打ち出し、NDCは「グレナダを変革する」と主張。また、ミッチェル首相（75）は、今回が自身にとって最後の総選挙になると示唆している。

●（24日グレナダ報道）23日、グレナダ総選挙が行われ、15議席のうち野党国民民主会議（NDC）が9議席、与党新国民党（NNP）6議席を獲得し、NDCが9年ぶりに政権に復帰。44歳のディコン・ミッチェルNDC党首が新首相に就任。

●（25日セントビンセント報道）ゴンザルベス首相は、有権者の強い要請により、2025年に予定されている総選挙で6期連続の政権獲得に挑む可能性がある。現在75歳の同首相は、活力があり引退する気配はない。

●（29日セントキッツ報道）ハリス首相は、社会的セーフティネットのための取り組みとして、貧困緩和プログラムと代替生活経路プログラム（通称『平和プログラム』）の継続を表明した。

●（30日アンティグア報道）内閣は、8年前に政府に就いて以来、住宅所有が非常に増加した、政府が1000戸以上の住宅を建設し、民間業者は住宅、ビル、その他のプロジェクトの建設に非常に忙しく従事していると述べた。

3. 経済

●（5月31日ドミニカ報道）スケリット首相は、政府がドミニカ電力会社（DOMLEC）の株式の過半数を500万米ドルで取得したと述べた。

●（5月31日セントビンセント報道）ガソリン価格がガロン当たり、14.95ドルから15.35ドルに引き上げられた。

●（1日セントビンセント報道）ゴンザルベス首相は、ハリケーンシーズンの到来に際し、準備を促した、またスプリエール火山噴火の影響で灰が蓄積している場所は雨と混ざると危険な状況になるとラジオで国民に呼びかけた。

●（2日アンティグア報道）ブラウン首相及び教育相は、生涯教育設備（ABICE）の拡充のため400万ポンドの一般市民からの支援を取り付け英国より帰国した。

●（2日セントキッツ報道）ハリス首相は、投資による市民権（CBI）による収入は、ネービス島にも相応に配分すると述べたが、ブラントリー・ネービス島自治代表（前外相）は、現状より多くの配分があるべきであると述べた。

●（3日セントビンセント報道）漁船を購入するための支援プログラムが開始。ベネズエラからの400万米ドルの支援を活用。

●（4日セントルシア報道）台湾の支援による50名を対象とした果実・野菜生産販売チェーン研修が終了した。

●（7日ドミニカ報道）グラント・ブルー及びグリーン経済及び食料安全保障相

は、ハリケーンマリアで被害を受け日本の支援により修復したロゾーの漁業施設を視察した。

- （8日アンティグア報道）中国によるセントジョンズ港の油圧関連工事が終了し、港湾の拡張工事完了にむけて大きな一歩であると中国大使館が発表。
- （8日セントルシア報道）政府は、砂糖の到着が、サプライチェーンのひっ迫により遅延していると発表。
- （9日アンティグア報道）公共事業局は、水需要が800万ガロンに対して供給量が650万ガロンであることから節水を求めた。
- （9日ドミニカ報道）リビエール農業省国務相が日本の支援により修復されたマリゴット漁業施設を視察し、同施設は市民の憩いの場としても利用されると述べた。
- （9日セントルシア報道）台湾の支援によるインキュベーター・ビジネス・コーチングプログラムが南部のラボリー住民も対象として公募された。チェン大使は、他に中学卒業70名に対しての起業家支援も実施すると述べた。
- （9日ドミニカ報道）世界銀行チームが、地熱プロジェクト現場を視察し、ヘンダーソン計画・経済開発・気候強靱性・持続的開発・再生エネルギー相が同行。
- （8日セントキッツ報道）無鉛ガソリンのガロン当たり価格は、スタンドにより18.01ドルから18.88ドルまで上昇。（3月は15.93ドル）
- （10日セントルシア報道）セントルシアの調査団がセントビンセントを訪れ、医療用大麻の生産現場を視察。シーザー・セントビンセント農相が同行。
- （10日セントルシア報道）ヒポリテ商業相は、経済対策として短期的に6%の輸入サービスを停止すると述べた。
- （13日アンティグア）ブラウン首相は、13日よりガロン当たりガソリン価格を15.15ドルから17.50に引き上げると発表した。
- （13日グレナダ）ベルモントエステートより4トンの有機カカオが輸出された。
- （16日ドミニカ報道）スケリット首相は、中国が支援するドミニカ農業科学施設の建設は、同国の農業と作物生産の継続的な変革に役立つと述べた。林中国大使は、同施設は、中国政府が約1000万東カリブドルを全額出資するハイテク農業近代化プロジェクトであると述べた。
- （16日セントキッツ報道）15日にSOLEC太陽光発電所の建設が開始。
- （17日アンティグア報道）英国が保健省に対し、防護服を寄贈（内訳は、エプロン6万3千、マスク4万8千、ガウン7千、ゴーグル2千7百、ラテックス手袋3万6千）。
- （17日セントビンセント報道）ベネズエラ、ペトロカリブ社からの燃料輸入が7月に再開される予定。

- （23日アンティグア報道）グリーン外相とビルータ・ルワンダ外相は、航空サービス協定に署名した。
- （25日セントビンセント報道）ゴンザルベス首相は、小麦価格を1袋当たり25セント値上げすると発表。
- （26日セントルシア報道）台湾が、ICT化支援目的で、バボヌー小学校に65インチのインターアクティブスクリーンを寄贈。
- （27日セントビンセント報道）7月1日より、スフリエール火山噴火により被災した約4000家族が300～600ドルを受領する。資金は世界銀行が支援。
- （27日セントビンセント報道）農業省漁業局は、FAOより年初より6月までに120人の漁民に対して洋上安全研修を実施。
- （28日セントルシア報道）農業省は、台湾の支援により5月のバナナフェスティバルに続き、マンゴフェスティバルを実施。ヒレイヤー首相代行兼観光相、プロスペー農相、ヒポリット商工相等が参加。
- （28日アンティグア報道）政府はロイヤルカリビアン社と500人の雇用を創出する覚書に署名した。
- （28日ドミニカ報道）政府は、漁業従事者に対し、7月に漁に出る際にはサルガッサム海藻の塊に注意するよう呼びかけた。
- （28日セントビンセント報道）台湾は国家安全保障省に対し、スフリエール火山監視のための機材購入のため5万米ドル強を供与した。台湾とセントビンセント国家危機管理庁（NEMO）が実施した危機管理システムのパイロット・プロジェクトの一環として行われたもの。
- （30日セントルシア報道）カリブ地域漁業メカニズム（CRFM）とニュージーランド植物食物研究所はサルガッサム海藻の用途を研究するプロジェクトを実施予定で、セントルシアは海藻除去のための機材支援を受ける予定。
- （30日セントビンセント報道）27日より小麦価格は、100ポンド当たり143ドルから155ドルに引き上げられた。

4. 外交

- （5月31日セントビンセント報道）ジェームス観光相はカリブ諸国に対し、小島嶼国を支援するため焦点の定まった強い政策を推進するよう呼びかけた。
- （2日セントビンセント報道）セントビンセントは、来週カリフォルニアで開催される米州首脳会議に出席しないと発表。
- （3日アンティグア報道）米国政府は米州首脳会議にどの首脳を出席させるかという論争に悩まされている。招待していないのは、キューバ、ニカラグア、ベネズエラの大統領で、自由で公正な選挙、法の支配と人権の尊重、メディアと政

治の自由の維持等、民主主義の遵守が論点となっている。

- （6日アンティグア報道）ブラウン首相は、米州首脳会議に出席する。
- （6日アンティグア報道）ブラウン首相は、サウジアラビアの代表団が21～25日にアンティグアを公式訪問すると発表。同代表団との間で、西インド諸島大学アンティグア校発展への支援等が検討される。
- （6日ドミニカ報道）林駐ドミニカ中国大使は、4月のボアオ・フォーラムにおける中国の「グローバル・セキュリティ・イニシアティブ」に言及。世界の安全保障の維持と実現に向けて、中国は知恵と解決策によって貢献すると述べた。
- （7日グレナダ報道）ミッチェル首相は、総選挙のため米州首脳会議には参加しないと発表。
- （7日セントルシア報道）ピエール首相は米州首脳会議に出席すると発表。
- （8日セントキッツ報道）セントキッツはベナン共和国政府と外交関係を樹立した。
- （8日ドミニカ報道）スケリット首相とダルー外相が米州首脳会議に出席する。
- （13日アンティグア報道）ブラウン首相は、米州首脳会合に参加し、コロナ禍の課題を克服し、経済回復に向けて協力を強化していくことを米州諸国に呼びかけた。
- （16日アンティグア報道）アンティグア政府はベネズエラに対し、大使館建設のために2エーカーの土地を贈与。
- （20日OECS発表）18日、東カリブ諸国機構（OECS）は創立41周年を記念し、回復力と持続可能性をテーマとした祝典を開催。
- （23日アンティグア報道）アンティグア・バーブーダは、英連邦首脳会議の参加に際しケニアとの外交関係を樹立。
- （23日アンティグア報道）内閣は、投資による市民権プログラム（CBI）に対するロシア人からの申請及びこれら申請を却下する場合の国家収入への影響等を議論。地域の他のCBIプログラム実施国も制裁に同調してロシア人からの申請を受け付けていない。アンティグアは、ウクライナ戦争が制裁の引き金となって以来、ロシアに対する世界的な制裁に沿って対応している。
- （24日各国・機関報道）グレナダ総選挙に監視団を派遣したカリコム及びOASは、各々に暫定報告書を発表。OASの報告では幾つかの問題点が指摘された。また、カリコム及びOECS、ハリス・セントキッツ首相、ピエール・セントルシア首相他は、総選挙で勝利したミッチェル国民民主会議（NDC）党首に対する祝意を表明。
- （24日現地各紙報道）24日、ルワンダのキガリで開催された英連邦首脳会議での選挙で、ドミニカ国出身で英国育ちのスコットランド英連邦事務総長が、ジャマイカのスミス候補を破り再選された。

- （24日アンティグア報道）ブラウン首相は、ルワンダで開催の英連邦首脳会議において、気候変動に関するハイレベル会合に参加。
- （25日セントルシア報道）ピエール首相が英連邦首脳会議に参加。スコットランド英連邦事務総長の再選への祝辞を表明。
- （25日セントルシア報道）11日、ロバート・ルイス新駐台セントルシア大使と台湾立法院の游錫院長が会談し、同院長は、セントルシアの長期にわたる台湾に対する支援に謝意を表明。

（了）